

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

vol. **39**

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

2 0 1 4



市川市
Ichikawa

香取市 佐原
Sawara

いすみ市
Isumi

千葉県

で見つけた

住みたいまち、
住みやすいまち

特集●魅力的な都市の未来形
こんなまちに住みたかった！



東芝エレベータ株式会社
TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION

FUTURE DESIGN

vol. **39**
2 0 1 4

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

CONTENTS

03-09 特集・魅力的な都市の未来形

こんなまちに住みたかった！
千葉県で見つけた
住みたいまち、
住みやすいまち

10-13 ユーザー訪問・安心・安全への備え、いかがですか？
vol.7

ライオンズ市川妙典

14-15 連載・私の忘れられない本・映画

三浦 雄一郎さん

(プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長)

16 連載・藻谷浩介のがんばる地方都市

第3回

栃木県芳賀郡益子町

(アンケートにご協力ください)

『FUTURE DESIGN』vol.39に対するご感想をお寄せください。抽選で10名様に、特集で紹介した「いちかわ手づくり市」で販売されていたバッグをお送りします。このバッグは、神奈川県南足柄市に工房があり、オーガニック素材や中古素材などを用いて、バッグ、生活雑貨などを手づくりしている gunung (グノン) が製作したもので、自転車の中古チューブなどをリユースしてつくられました。一点一点が世界に一つしかない逸品です。



●応募方法

同封のはがきまたはFAX用紙、E-mailでご意見をお送りください。以下のWebページ内にあるフォームからご意見をお寄せいただくことも可能です。

<https://www.toshiba-elevator.co.jp/SSL/camp/campaign.jsp?pk=1404711270952>

●締め切り

2014年11月30日到着分まで有効。



【表紙解説】



「住みたいまち、住みやすいまち」とはどんなまちでしょうか？ 刺激がほしい方、歴史的な遺産に囲まれて暮らしたい方、のんびりした暮らしが好きな方……それこそ人により、「住みたい、住みやすい」の視点が変わってきます。今回は、東京に隣接する千葉県を旅するなかで、異なった魅力を持つまちを3つ見つけました。千葉県には、魅力を秘めたまちがたくさんあるのです。

東芝エレベータ株式会社

FUTURE
DESIGN

vol.39 2014

2014年8月31日発行 発行 東芝エレベータ株式会社 広報室

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

電話 (044)331-7001

URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>

E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イー・クラフト+有限公司ベル・プロダクション デザイン 手塚みゆき
印刷会社 株式会社メディア グラフィックス



地球環境に配慮した植物油インキを
使用しています。



千葉県 で見つけた

特集●魅力的な都市の未来形
こんなまちに住みたかった！

また、神奈川県川崎市と千葉県木更津市を結ぶ東京湾アクアラインが1997年に開通して以降、房総半島と対岸地域間の所要時間が大幅に短縮され、千葉県と対岸地域との交流も活性化している。今回の特集ではこの千葉県を取り上げ、住みたいまち、住みやすいまちを実現するアプローチの違いから、市川市、香取市佐原、いすみ市の事例を取材した。あなたならどのまちに住みたいと思うだろうか？今回は、読者のタイプ別にお勧めのまちを紹介する。

千葉県は、海拔500m以上の山がない唯一の県で、県土の大半は平野と丘陵から成り立ち、温暖な気候と豊かな里山・里海にも恵まれている。



Chiba

古いまち並みが残り、心なごもまちです。



佐藤 健太良氏

伝統重視のあなたは



香取市 佐原

スローライフを送りたい人にうってつけのまちです。



三星 千絵氏



のんびり派のあなたは

いすみ市



住みたいまち、 住みやすいまち



Sawara

Ichikawa

CHIBA

Isumi

市川市

交流好きなあなたは



丸山 潤氏 河野 直氏

市民の交流拠点が
どんどん増えています。



エレバっち
東芝エレベータの
イメージキャラクター



国内外のハンドメイド雑貨も扱っています。

③ DEPOT

自転車と雑貨のライフショップ。写真中央はオーナーの湊誠也さん。



ショップ2階を陶芸ワークショップなどのスペースとして開放。市民の交流スポットになっている。

写真提供：DEPOT



② いち案内

市川市が公開しているGIS（地理情報システム）。保育園・幼稚園、文化施設、福祉施設、保健センターなど、スマートフォンでらくらく検索！



① JR市川駅南口

JR市川駅南口改札を通り抜けて外に出ると、東芝製のエレベーターとエスカレーターが設置されている。

市川市 Ichikawa

交流好きなあなたは

多様な人の交流のなかから新しい何かが生まれてくる

東京に隣接し、そのベッドタウンとして発展してきた市川市は、約47万人が住むまちで、今なお人口は増加傾向にある。人と人の交流を育むスポットも増えつつあり、それがまちの躍動感を生み出している。



案内人

丸山 潤氏
まるやま・じゅん
イラストレーター

河野 直氏

こうの・なお
合同会社 つみき設計施工社
代表社員



④ 市川市中央図書館

誰でも自由に利用できる、充実したネット環境。社会人から学生まで、平日でも多くの人が集う。



まちの本屋さんを意識したコーナーづくりも魅力のひとつ。



⑤ 広尾防災公園

公園内にある休憩用のスツール。災害時は、座部板を外すと炊き出し用のかまどに変身！



外国人との新しい交流の場が誕生

東京駅からJR総武線快速で20分弱。東京のベッドタウンとして人気のある市川市は江戸時代、成田まで続く街道があり、成田山新勝寺の参拝者の宿駅として発展してきた歴史あるまちでもある。成田空港と東京の間にあるため、現在では外国人居住者が多く、外国人と市民との交流がひとつの課題となっていた。

市川市役所ではこうした状況を踏まえ、様々な市の情報を外国語（英語、中国語、韓国語など）で提供するサービスを2008年度から実施。またには、外国のグッズなどを扱うショップや飲食店、外国人を交えた新しい交流の場などが次々と誕生し、人気を集めている。このほか、市民が中心となって実施しているイベントやワークショップも、外国人との交流に大きな役割を果たしている。

新しい交流の場は市民のサイドプレイスに

こうしたイベントのひとつ「いちかわ手づくり市」では、新しい知と技法を研修し、まちづくりのリーダーを養成す



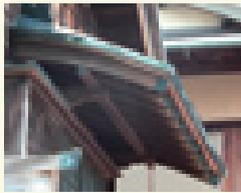
9 加藤邸

明治3(1870)年頃の建造といわれ、登録有形文化財建造物に指定されている。湾曲した唐破風(からはふ)が特徴的な建築。



10 後藤神輿店

行徳地区にある3軒の神輿店のうちの1軒。東京のお神輿のほとんどがこのまちでつくられていた。



後藤神輿店の湾曲したひさしは、神輿を想像させる!



6 もののわ。

アジアン食堂&雑貨屋。同じ好みの市川市民が集う。左から2人めがオーナーの西岡佳名子さん。



見ているだけでも楽しくなる、オシャレな小物がいっぱい!



一番人気のベトナムサンドイッチ「バインミー」。



7 ぎやらりー三平/いちかわ手づくり市

市川市の旧住民と新住民の交流の場。オーナーの横川貞夫さんが、市民のために蔵を改築した。

出品されている作品はどれもプロ級のものばかり。手づくり市は外国人と住民の交流の場にもなっています。



いちかわ手づくり市実行委員会代表の宮川はるみさん。同実行委員会は、市川市内各地で手づくり市を開催している。



取材日にぎやらりー三平で開催されていた「いちかわ手づくり市」。自転車のタイヤを使ったバッグやベルト、財布などの小物類が販売されていた。オシャレで丈夫、海外でも人気とか!

Ichikawa | Voice

市民の利便性向上にITを徹底活用



山本 純一氏
やまもと・じゅんいち
市川市 企画部
情報政策課 課長

市川市では、1997年に市役所のホームページを開設して以来、簡単・便利・スピーディをモットーに、市民の意見やニーズを把握する「市民ニーズシステム」、借りたい本をパソコンで予約できる「図書館予約システム」などを導入し、市民に利用されています。

なかでも、住民基本台帳カード(住基カード)を利用して住民票や印鑑証明を取得できるシステムは好評です。2004年、証明書自動交付機を市内に設置するところから始め、2010年にはコンビニの端末でも取得できるようにしました。今では、税証明や戸籍謄本も発行可能です。

住基カードは、現在市内で約12万枚発行し、その数は全国で4番目だと思います。まもなく住基カードからマイナンバーカードに移行しますので、今後は、税や社会保障、災害に役立つサービスも提供したいと考えています。

災害に対する市民の意識が高いので、住みたいまち、住みやすいまちを実現するには、安心、安全も重要なキーワードのひとつです。市川市では、防災公園を2つ整備しただけでなく、オフライン環境下でも自分の居場所がわかり、周辺の避難所や救護所を調べられる、スマートフォン用の防災マップアプリを現在開発中です。



8 コラボ・ファクトリー

店舗前で子育てママさんが手づくり雑貨を販売するマーケットやワークショップを開催。市民同士の交流を応援し、支えている。写真はオーナーの田島明子さん。

市川の案内人である建築家の河野直氏は、「市川市が今後さらに住みたいまち、住みやすいまちになるには、こうした交流の場がもっと増えることが重要だと思います。新しいコミュニティがさらに広がり、点と点がつながって線になるといいですね」と語る。

「いちかわTMO(タウン・マネジメント・オフィサー)講座」で知り合った仲間が集まり、会場でプロ顔負けの作品を販売。その会場として使われた「ぎやらりー三平」は、イベントを開催する場として、ふだんから市民に開放されている。また、海外で人気のバッグやグッズも購入できる自転車ショップ「DEPOT」は、仕事場の2階をワークショップ会場として開放している。このような交流の場は、単に外国人と市民との交流の場というだけではなく、市民にとっての心より所にもなった。自宅がファーストブレイス、仕事場がセカンドブレイスだとすると、心のより所となるもうひとつの居場所がサードブレイスで、市民はそれを持つことで、豊かな生活を楽しんでいる。



3 亀村本店

砂糖の販売で知られている亀村本店(屋号は大和屋)の11代目、通称「亀じい」は、水郷あやめの品種改良の名人。



2 まちの駅 わいわい食彩館

佐原駅前商店街の空きパチンコ店を「まちの駅 わいわい食彩館」として再利用。地元住民に愛される食事処に生まれ変わった。



実際に活動してみなければ、まちの本当の姿はわかりません。

佐原駅前商店街の再生を目指すまちおこし会社「ゼットやっぺい社」代表取締役の伊能久敬さん。



1 JR佐原駅

2011年、佐原駅は小野川沿いに軒を連ねる古い町屋をイメージした駅に变身。



4 東薫酒造

文政8(1825)年創業の酒蔵で、見学が可能。大吟醸「叶(かのう)」は全国新酒鑑評会で金賞を13回受賞した。観光部長の石毛麻理さんは佐原おかみさん会のお一人。

写真提供(右): 東薫酒造

伝統重視のあなたは

香取市佐原

Sawara

歴史的な景観を守り伝えながら新しいまちを育む

香取市は利根川沿いに位置する人口約8万人のまちで、その中心地・佐原は、水郷のまち、祭りのまちとしても有名だ。伝統的な建造物が豊富に残り、心癒やされる景観が広がっている。

案内人

佐藤 健太良氏

さとう・けんたろう
NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会
事務局長



5 ワーズワース

材木店だった古民家を改装し、2年前にオープンしたイタリアレストラン。地元の食材やオーナーの実家で採れた野菜を使用した料理が楽しめ、地元の方々にも大人気!



オーナーの篠塚光教さん。

もっと地元の人に愛してもらえるお店になれるように工夫を重ねています。



古いまち並みこそが佐原の財産

東京駅からJRの路線を乗り継ぐこと約2時間。利根川水系の商業都市として栄えた佐原は、東京近郊の人にとって、人気の日帰り旅行スポットとなっている。「祭りのまち」ともいわれるように、年2回の祭り(夏祭り、秋祭り)は国の重要無形民俗文化財に指定されており、「関東三大山車祭り」として知られる山車が佐原囃子の音色とともに、柳が揺れる小野川沿いの古いまち並みを彩る。

そんな情緒溢れるまち並みは、1996年、関東で初めて重要伝統的建造物群保存地区として選定。以来、佐原のまち並みは「行ってみたいまち、住んでみたいまち」として、人を惹きつけている。

佐原のまち並みを支える様々な市民活動

しかし、まちの賑わいや伝統的な建造物は、戦後一貫して守られてきたわけではない。1970年代以降は、モータリゼーションの進展や成田空港の開港などにより、まちの活気が徐々に衰退。伝統的な建造物を近代的な建物に改築するところも見られた。

その流れを食い止める転機



2 いすみライフマーケット

いすみライフスタイル研究所が毎月第2日曜日に千町(ちまち)保育所跡地で開催するフリーマーケット。いすみ市在住者がつくった魅力ある商品が多数集まる。

写真提供：いすみライフスタイル研究所



1 高秀牧場

牛の排泄物などの資源を再利用し、循環する「循環型酪農」に取り組む。2012年からはチーズの販売も開始した。ネット販売されているブルーチーズは待たないと買えないほどの人気商品！

循環型酪農を始めた当初は、周囲に誤解されましたが、今は多くの方に理解され、逆に注目されています。



オーナーの高橋憲二さん。



屋根の上には、地元の造形作家が製作したまちおこしオブジェが飾られている。完成度の高さに本物と間違えてしまいそう。

3 いすみ鉄道

車体にムーミンのイラストが描かれた「ムーミン列車」が走る鉄道。いすみ市の活性化に役買っている。楽しいイベントや季節ごとの自然を満喫できる。



4 Brown's Field

カフェ&コテージ。カフェで出す料理には、先人の知恵をヒントに、自作の野菜や米、地元の食材を多く使用している。1週間まるごとスローライフを楽しめる宿泊体験も可能。

豊かな自然に囲まれたなかでアウトドアウェディングも可能。
写真提供：Brown's Field



6 いすみ自然エネルギー推進協議会

再生可能エネルギーの事業化を推進する団体として設立された。まず、ソーラーシェアリング方式*の発電システムの設置を目指して活動中。(写真は、建設予定地のブルーベリー農園)

* 耕作地を維持しながら、その上空で発電する方式
写真提供：いすみ自然エネルギー推進協議会



5 つけむすび

「食によるまちおこし」を目指し、同研究所のメンバーも参加して開発された。そばづくりも体験できるそば店「手打ちそば ひらが」で堪能できる。



のんびり派のあなたは

いすみ市 Isumi

食とエネルギーの自給を目指し、人のつながりを大切にする

いすみ市は、太平洋に面した人口約4万人のまちで、サーファーの人気スポットのひとつ。

のどかな田園風景が広がり、まさに「都心に一番近いふるさと」といえる。



案内人

三星 千絵氏

みつほし・ちえ
NPO法人 いすみライフスタイル研究所
スタッフ

自分らしいライフスタイルを楽しむまち

温暖な気候と豊かな里海・里山が広がるいすみ市は、東京駅から電車で約2時間。東京湾アクアラインを使えば、車で約1時間半とさらに短く、東京近郊の住民には、休暇で気軽に行ける、都会に近い田舎として人気を博している。しかし近年は、年々人口が減少の一途をたどっている。

そこで、いすみ市の住民を増やし、まちを活性化することを目的とした市民団体がいくつかが誕生した。2008年に設立されたNPO法人「いすみライフスタイル研究所」もそのひとつだ。

B&B婚活イベントや、そば打ち体験などの農業イベント、移住体験ツアー、および移住希望者へのアドバイスなどを行い、いすみ市に移住する次世代の人たちに、スローライフを提案。少しずつではあるが、20代、30代の住民も確実に増えてきている。そして、いすみ市に移住し始めた人たちは、田舎暮らしを楽しみながら、週に1度、東京に打ち合わせに行くなど、自分らしいライフスタイルを確立し、地元の人との交流も活発に行っている。

千葉県の魅力は 豊かな生活文化 と里山・里海

北原 理雄氏
きたはら・としお
千葉大学 名誉教授



1947年横浜市生まれ。1977年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。名古屋大学助手、三重大学助教授を経て、1990年に千葉大学教授に就任。2013年より現職。著書に『公共空間の活用と賑わいまちづくり』（共著、学芸出版社）、『都市の個性と市民生活—都市の再生を考える3—』（共著、岩波書店）などがある。

豊かな農海産物に恵まれた、 のんびり気質の地域

千葉県は、地理的・文化的観点から複数のエリアに分けられます。例えば、高度成長期以降に東京のベッドタウンとして発展してきた、千葉市より西側のエリア、江戸への物流拠点として栄えた、香取市を中心とする利根川水系エリア、広い平野があり、漁業と農業を両立させてきた九十九里エリア、黒潮の恵みとともに生き、漁師文化を育んできた外房エリア、ノリや貝などの養殖を手がける東京湾側の内房エリアなどです。

県全体で見た場合、千葉は気候が温暖で、豊かな農海産物に恵まれ、沖縄から千葉へと連なる黒潮文化圏に属します。また、江戸という大消費地に隣接していたため、古くから江戸を中心とする経済圏に組み込まれていました。そのため、「食いはぐれる」ことがなく、のんびりとした県民気質が育まれてきたのではないかと思います。

地元の人々と共同で 進めるまちづくり

そうした県民気質や風土に惹かれ、千葉大学に赴任して以降、地元の人々とともにいくつものまちづくり活動に取り組んできました。

例えば、市川市行徳地区では、地元の土木・建設業者やまちづくりの会と一緒に「行徳小普請組」を組織し、行徳地区に残る伝統的な建物の修復、建て

替えからまちづくりに関することまで、住民からの相談に気軽に応じるまちづくりドクターの活動に取り組みました。また、千葉市では15年前から毎年秋に、市民作家の作品展示やジャズ演奏などを千葉駅前大通りで行うイベント「パラソルギャラリー」を開催しています。

パラソルギャラリーは、2010年に行政の補助金が打ち切られましたが、市民自らお金を出す形に切り替えることで現在も継続しています。これは、市民が自分たちで実行・運営するまちづくり活動の成功例だと思います。

住民が地元をもっと楽しめば 地域の魅力が増す

現在の千葉県には、東京を意識している地区が多いように感じます。しかし、千葉県には、人と関わってきた里山・里海がありますし、豊かな生活文化もあります。それらを地元住民がもっと楽しめば、その地域の魅力が増し、定住者や外部からの訪問者も増えて、地元住民の元気につながるはずです。

千葉県では例えば、いすみ鉄道のようなローカル線でのんびりと列車を待ったり、鴨川市内の棚田で日帰り田んぼづくりにいそしんだりといった楽しみを味わえます。あまり便利にならず、東京に近い場所でスローライフを送れる——それが、千葉県を今後もっと住みたいまち、住みやすいまちに変えるキーワードになるのではないのでしょうか。



行徳小普請組、てらまち会*、千葉大学が協力して2006年に行った「行と〜く」。2006年の「行と〜く」はまち歩きとワークショップを実施した。

*行徳地区の寺町周辺の景観まちづくり活動を推進している団体



2008年に実施されたパラソルギャラリー。現在は市民有志と千葉大学の学生が実行委員となり、名実ともに「市民の市民による市民のためのパラソルギャラリー」として運営されている。

写真提供：北原理雄氏(2点とも)

東芝エレベータは、エレベーター・エスカレーターだけでなく、ビル・マンションなどの設備に関する最適なシステム、さらには省エネ・セキュリティを考慮したトータルソリューション提案にも注力しています。

ユ - ザ - 訪 問



安心・安全への備え、いかがですか？

導入事例

vol. 7

ライオンズ市川妙典

Lions Ichikawa Myoden

停電時もエレベーターを通常速度で運行できるリチウムイオン蓄電システムを導入

2014年1月、株式会社大京が手がけるライオンズ市川妙典が千葉県市川市で竣工し、業界初^(*)となる、停電時でもエレベーターを通常速度で運行でき、さらにエレベーター運行時には、各階のエレベーターホールに設置された蓄電池の残量計で残量を確認できるリチウムイオン蓄電システムが同マンションで稼働を開始した。東芝エレベータと共同開発したシステムで、停電時でもエレベーターを10時間程度通常速度で運行させることが可能だ。

今回は、このシステムを開発した経緯、特長などについてレポートする。

※ エレベーター業界初(東芝エレベータ調べ)



北宿 仁嗣氏 きたじゅく・ひとし
株式会社大京
建設統括部 商品企画室
担当副部長 兼 企画推進課長



中山 雄生氏 なかやま・かつお
株式会社大京
建設統括部 商品企画室
担当副部長 兼 商品企画課長

DATA



住所： 千葉県市川市塩焼4-2-4

施設： 鉄筋コンクリート造、地上7階建て、全57戸、敷地面積2,060.17㎡
専有床面積63.09~80.39㎡、竣工2014年1月

概要： リチウムイオン蓄電システムを採用した新築マンション。平常時の昼間は、太陽光発電を用いて優先的にシステムに蓄電し、一定以上の電力蓄電時にはエレベーターに使われる。停電時の備えと平常時の省エネを両立した、安全・安心設計のマンションだ。

東日本大震災後、防災対策を全面見直し

東日本大震災では、地震直後だけでなく、その後の計画停電によっても電力の供給が不安定になった。その結果、電力の供給がない停電時、エレベーターは停止し、利用できなくなる不便さを多くの方が実感した。

「ライオンズ」のブランド名で、マンションの供給実績6877棟37万戸を誇る株式会社大京は、震災後にマンシ

ョン住人へのアンケートや被災地支援を通じて、防災サイクルプログラム「ライオンズセーフティアクション」と、省エネや環境保全のための「ライオンズプラスエコ」という2つのプロジェクトを始動させた。同社の建設統括部 商品企画室 担当副部長である北宿仁嗣氏はこう語る。

「大震災後、マンションが防災拠点になることを改めて痛感しました。そこで、震災後、以前から備えていた防災備蓄庫の中身を刷新するとともに、

エントランスホールに無線LANの基地局を設置し、停電時でも発電機を使って外部と通信できるようにしました。また、従来は管理人室内に設置していた管理人用トイレをマンション共用部に設置し、非常用として居住者どなたでも使えるようにしました」

10階建て、50戸以上の新築物件に非常用発電装置を導入

2012年には、各部屋に備える防災備蓄品パッケージ

「ライフティキット」を開発。安否確認の情報などを玄関ドアに貼れるマグネットやDNAモバイル、携帯用トイレなどをコンパクトに収められるようにした。同社建設統括部商品企画室 担当副部長の中山雄生氏は、被災地の支援のなかから学んでこうした取り組みを始めたという。

「当社の社員が実際に現地へ支援し、その体験をもとに備品を見直しました。また、停電時もエレベーターを動かせるようにすることの重要性

を感じました」

同社は2011年7月以降に着工する10階建て、50戸以上の新築マンションに、重油や軽油を燃料とする非常用発電装置を導入することにした。これにより停電時にも10時間、エレベーターを稼働させることが可能になった。

「しかし、発電機は、半年に1回動作させてチェックするなど、メンテナンスの手間と費用がかかりますし、非常時しか使えません。ふだんから使えて、非常時にも役立つ発電



マンション1階のエレベーター乗り場。ニーズに合うようから設計し、各階に設置された蓄電池残量計により、蓄電状況がリアルタイムでわかる。



リチウムイオン蓄電システムの本体。平常時は夜間でも、停電時に備えて蓄電残量が50%を切らないようにする等、様々な制御が可能。蓄電量はモニターで一目瞭然。

システム概念図



装置を模索しました。その点、共同開発するリチウムイオン蓄電システムに搭載される東芝製二次電池「SCiBTM」は、長寿命で10年間使い続けられる点と、定期点検がいらぬ点に魅力を感じた」と中山氏は語る。

当初はガスを使ったコージェネレーションシステムを検討した。しかし、非常時しか使えず、同社は最終的に蓄電池

「平常時にも使えることを重要視したため、充電しながら使用できる蓄電池に着目したので。探したところ、要望に合致する電池は東芝製しかありませんでした」と北宿氏は語る。

同社は東芝エレベーターに相談し、東芝製二次電池「SCiBTM」を利用した蓄電システムをカスタマイズすることに

このシステムは、太陽光発電と商用電源を併用し、リチウムイオン電池に蓄電しながら、

なった。こうしてエレベーターの稼働と連動したマンション用リチウムイオン蓄電システムが完成。2012年11月に発表にこぎ着けた。

太陽光発電と蓄電池を利用したシステム

エレベーターに電力を供給する。晴天時には、ほぼ太陽光パネルによる蓄電だけでエレベーターを動かせるので、省エネにも役立つ。また、停電時には、蓄電池だけで約10時間、エレベーターを通常速度で動かすことができる。必要に応じて、給水ポンプや機械式駐車場の電源に手動で切り替えることもできる。

リチウムイオン蓄電システムの導入先を順次拡大

このシステムの導入第1号は、2014年1月に竣工したライオンズ市川妙典である。同社は、今年9月に竣工予定のライオンズ小牧グランライズ(愛知県)では同様のシステムを導入し、2015年8月に竣工予定のライオンズ港北ニュータウンローレルコート(神奈川県)には、このシステムをさらに進化させ、蓄電容量も4倍にしたものを導入する方針だ(13ページのコラム参照)。

ライオンズ市川妙典は今年1月から入居が始まったばかりだが、北宿氏は「エレベーターホールに蓄電池の残量計があり、入居者の方々にも節電状況を実感してもらえ、と思っています」と語る。

大京はライオンズセーフティアクションにおいて「つく

る」「守る」「つなぐ」のサイクルを基本方針としている。つまり、災害に強いマンションをつくるだけでは不十分で、居住者の声を活かした防災対策から、居住者の自助・共助の支援まで、マンション事業者として提供するべきという考えだ。

今後、居住者のための防災と省エネの観点で考えれば、ふだんから利用できるリチウムイオン蓄電システムは早期に普及することが望まれる。

打ち合わせから施工まで担当した思い出深い物件です。システム設置時には、エレベーターの作動中にブレーカーを切り、蓄電池で正常に稼働を続けるか、何度も試験し、安全と安心を追求しました。



大友 敏裕 おおとも・としひろ
東芝エレベーター
ビルソリューション事業本部
ビルソリューション技術部
東日本エンジニアリングセンター



屋上に設置された太陽光パネル

メーカーの立場から

リチウムイオン蓄電システムでエレベーターをより安心で省エネに



加藤 公継 かとう・きみつぐ
東芝エレベーター
東京支社
営業第二部 営業第一担当
部長代理

2011年5月、東芝エレベーター東京支社の加藤宛に大京様から意外な連絡が入った。それは、停電してもエレベーターが動かせるように、蓄電池を使ったシステムを開発してほしいという依頼だった。

「蓄電池についてはまったくの門外漢でしたが、東芝グループの製品が頭に浮かびました。高性能な二次電池「SCi-BTM」を販売していたほか、事業領域が幅広いため、大京様のご希望を満たすシステムをご提供できるのではないかと考えたからです」(加藤)

当初、エレベーターへの「SCi-BTM」適用は商品化されておらず、実用化に向けた議論が始まった。

「SCi-BTM」は画期的な二次電池である。新材料の採用などにより長寿命性能を実現し、1万回の放充電後も80%以上の容量を維持できる。さらに、衝撃を与えても熱暴走を起こさない安全性と、大電流を瞬

時に出し入れできる高入出力性能も備えている。大京様向けのリチウムイオン蓄電システムは、この「SCi-BTM」を搭載している。

「今回大京様と共同開発したリチウムイオン蓄電システムは高容量・高出力のため、停電時でもエレベーターは通常速度で運行でき、さらにエレベーター運行時には、各階のエレベーターホールに設置された蓄電池の残量計で残量を確認できます(エレベーター業界初 弊社調べ)」(加藤) とはいえ、エレベーターは電池とつなげばすぐに動くほど単純ではない。自社の技術部門と連携して試行錯誤を繰り返し、2014年1月、ライオンズ市川妙典に製品を納入した。このシステムは、ライオンズ市川妙典に続く導入先も順調に決まっている。「より多くの方に、停電時の安心・快適と、平常時の高い省エネ性能をお届けしたい」と加藤の期待は広がる。

蓄電システムを活用して マンションを防災拠点に



関栄二氏 せき・えいじ
明海大学 不動産学部 講師

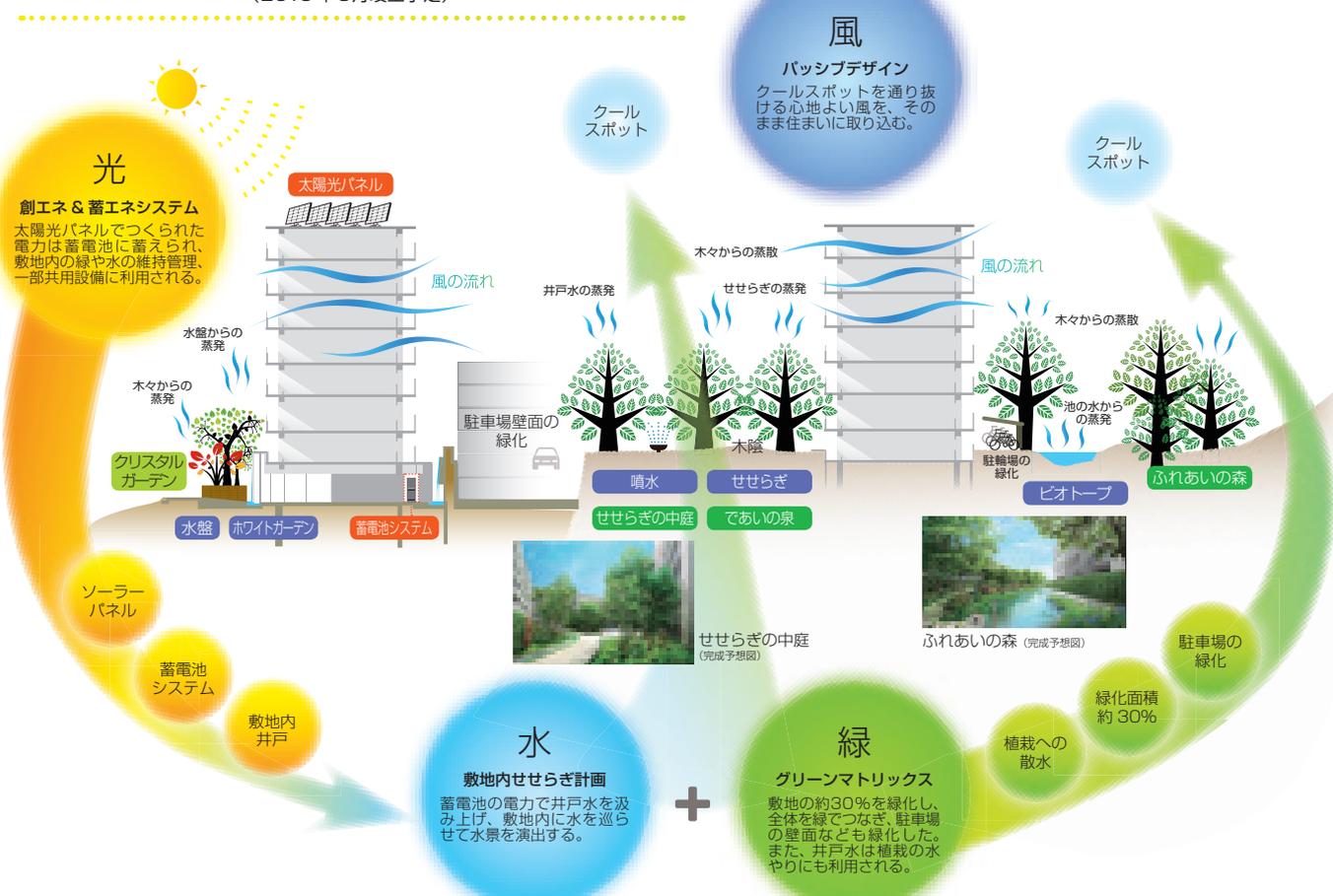
東京大学大学院博士課程修了、工学博士。既存建物の資産価値を高めるための研究に従事。

東日本大震災以降、非常時には、マンションを防災拠点としたり、マンション内で生活を続けられるように対策を立てる傾向が強まっています。水や食料などの備蓄を増やすことも大切ですが、当時実施された計画停電の影響から停電のリスクもクローズアップされています。

私は、マンション学会と協力して被災状況を調査しましたが、停電時に、停電時自動着床機能がない古いエレベーターで閉じ込め事故がありました。また、給水ポンプが止まり、マンション上層階でトイレが使えないという問題や、機械式駐車場から車の出し入れができないマンションもありました。

自家発電装置を導入したマンションもありますが、維持費用の観点から撤去に至るところもある一方、蓄電システムはふだんから電力として使えるというメリットもありますので、今後防災対策として、広く普及してほしいと思います。

さらに進化したリチウムイオン蓄電システムが導入される
ライオンズ港北ニュータウン ローレルコート のコンセプト図
(2015年8月竣工予定)



Column

リチウムイオン蓄電システムによって豊かな緑を再現

横浜市都筑区に建設中の「ライオンズ港北ニュータウン ローレルコート」には、さらに進化したリチウムイオン蓄電システムが導入される予定だ。

ライオンズ港北ニュータウンローレルコートでは、蓄電システムを電源にして井戸から水を汲み上げ、敷地内に水を巡らせて、せせらぎや池などの水景を演出する。この水は、植栽用の散水にも利用され約100種類、3700本の樹木が敷地全体を覆い、ピオトープ、ガーデンなどが住民の憩いの場となる。蓄電システムは豊かな緑の維持だけに使われるわけではない。停電時には、エレベーターや共用部の無線LAN設備に優先的に電力を供給し、井戸水は、飲用には適さないもののトイレや生活用水に利用される。

街全体は、自然の力を活かしたバッシブデザインで設計されており、散水からの蒸散効果によって生まれる風の流れを部屋に取り込み、外に抜ける構造になっている。これにより、夏場でも一般的な住宅より室内温度が約5℃低く、エアコンの使用が減り、6～9月の4カ月間で、電気代を約31%削減できる。さらに、使用電力の見える化、LED照明の採用などによって省エネを推進し、電力の一括受電により各住戸の電気代を約7%削減した。

リチウムイオン蓄電システムが担う役割は、今や停電時への備えだけでなく、平常時の省エネや環境配慮へと広がり、都市の住環境に豊かな緑を再現しようとしている。

自分の弱さを知ることが
「生きる」という強い意志につながる

三浦雄一郎

さん（プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長）

本好きのアルピニスト

昨年5月、三浦雄一郎さんが80歳にしてエベレスト登頂に成功したニュースが報じられた。史上最高齢の記録である。それまでも三浦さんは、世界七大陸最高峰制覇を果たしたうえに、スキーで滑降して下山するという前人未達の領域に次々と挑み、成功を収めてきた。ご本人はさぞ豪快な方だろうと思いきや、至つても腰の柔らかい好々爺という雰囲気である。

話を伺うと、三浦さんは大の本好きであった。山に登る時は必ず何冊も登山用リュックに詰めていく。強いて愛読書を挙げるとすれば、開高健とサン・テグジュペリとのこと。この二人の作品は、山に持参しては何度も読み返す。『ベトナム戦記』『夏の闇』『オーパー』……ベトナム戦争では臨時特派員として戦火をくぐり抜け、釣師として世界を巡った開高健。『戦う操縦士』『人間の土地』『星の王子さま』……飛行機乗りとして、やはり世界を股に掛けたサン・テグジュペリ。冒険家の三浦さんがこの二人の作品に愛着を持つのもわか

る気がする。

臆病であることの意味

三浦さんの最近のお気に入り、百田尚樹著『永遠の0』である。小説を読んだあとは映画も観た。主人公は太平洋戦争末期の特攻隊員で、ゼロ戦を操ることにかけて抜群の腕を持つパイロット宮部久蔵である。

「僕自身、あと3、4年早く生まれていたら、もしかしたら特攻隊の一員になっていたかもしれない」と三浦さん。だからこそ、この話はよりリアリティを持って迫ってくるのだろう。三浦さんは「死を覚悟しているという意味では、登山家も特攻隊も似たようなところがあります」とも語る。

話は、現代と交差しながら進む。宮部の孫の姉弟は、祖父が海軍航空隊のなかで最も臆病者であったという事実を知る。彼は妻に「必ず戻る」と約束を交わしていた。何としても死ぬわけにはいかないというのが宮部の決意だった。

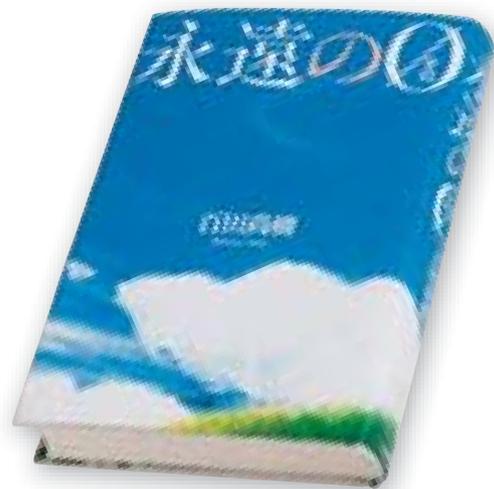
「これは小説ですから、主人公は最後に、あ

る理由から特攻隊員の道を選びますが、臆病者であるという点では山に登る時の僕と同じです。僕はもともと汗かきですし、凍傷にもなりやすい。その分、自分の弱さを知っています。ですから、僕は必要以上に用心深いのです。死んだら何にもなりませんから」

ここでいう臆病者の意味は深く、その背後には生きることへの強い意志がある。山では、死んだら楽になれるという誘惑に何度も襲われるという。それでも三浦さんが無事に生還してこられたのは、必ず生きて戻るという強い意志に支えられてきたからだ。三浦さんが主人公に人一倍共感し、この物語に強く惹かれる理由もそこにあるのだろう。

三浦さんの次の目標は4年後。ヒマラヤ山脈にある標高8201mの山チョ・オユー（※）からのスキー滑降である。「目標があるからこそ、この年になっても元気でいられるのです」と三浦さんは笑う。4年後、85歳の三浦さんがチョ・オユーからの滑降を成し遂げ、我々の前にその笑顔を見せてくれることだろう。

※チョ・オユー（英語：Choyu）中国語：卓奥友峰
中国チベット自治区とネパールのまたがる山で、世界第6位の標高を誇る。1954年に初登頂された。



『永遠の0』
百田尚樹 著
単行本：太田出版 刊
文庫本：講談社（講談社文庫）刊
※画像は単行本です。



『永遠の0』Blu-ray 豪華版 初回生産限定仕様
セル 発売・販売元：アミューズソフト
価格：6,500円（税別）
©2013『永遠の0』製作委員会

小説『永遠の0』ストーリー
司法試験に失敗した佐伯健太郎は、ノンフィクションライターを目指している姉の慶子とともに、新聞社の終戦記念プロジェクトに参加することになる。その一環として二人は、海軍航空兵で神風特攻隊の隊員として死んだ祖父・宮部久蔵のことを調べ始めた。
最初に取材した元海軍少尉・長谷川梅男から二人は祖父が海軍航空隊一の臆病者であったと聞かされて驚く。宮部はどんな時にも危険を避け、無傷で帰還したというのだ。その後も二人は、宮部を知る人々の取材を続け、そのなかで、祖父が天才的な操縦技術を持つパイロットであったこと、生きて家族のもとに帰ると常にいていたことなど、それまで謎に包まれていた祖父の実像が次第に明らかになってくる……。



みうら・ゆういちろう ●1932年生まれ。株式会社ミウラ・ドルフィンズ代表取締役。2013年、80歳で自身3度目になるエベレスト登頂を果たした。
著書に『冒険の遺伝子は天頂へ』(祥伝社、次男の三浦豪太氏との共著)、『高く遠い夢 ふたたび』(双葉社)などがある。



もたにことうすけ ● 日本総合研究所 主席研究員。日本の全市町村を訪問し、地域特性を多面的に把握。登壇・出演・寄稿は年間500件を超える。著書に『里山資本主義』など。最新の著書は『しなやかな日本列島のつくりかた』（新潮社）。

今回の
いいね!

ふるさとの「土」の魅力を、
住民総がかりのイベントで
全国に発信!



大正から昭和初期の益子の暮らしの様子を写したモノクロ写真をビルボードにして会場内数カ所に設置(2009年~)



江戸時代から続く日下田(ひげた)藍染工房では、植物を用いた灯りのインスタレーションが(2012年/作家:川村忠晴)

◎土祭の今後の開催予定

- ・前・土祭：2014年10月4日(土)
- ・第3回：2015年9月13日(日・新月)～28日(月・満月)

藻谷浩介の
かんはる
地方都市
第3回

栃木県芳賀郡益子町



【益子町】
ましこまち

栃木県南東部、のどかな田園と里山が広がる人口2万4000人の町。SLで有名な真岡(もおか)鐵道線沿いにある。民芸運動の拠点となったことから、陶芸家が数多く移り住み、個性豊かな窯を構える。今に残る日本の原風景に惹かれ、陶芸をやりたいたい若者などが移住してきている。

首都圏のすぐ横に残る原風景。
地域文化を活かして町を元気に!

東京から鉄道を2回乗り換えて2時間余り。田園をガタゴト走るディーゼルカーから降りると、駅前には古びた町並み。

「トイイベント「土祭」でしよう。まだ生まれたてのイベントですが、2009年の第1回、2011年の前・土祭を経て、2012年には第2回が開催されました。

でも歩き出すと、見事な彫刻の施された祭り屋台があちこちに展示されていたり、地元食材を使うカフェがあったり。江戸時代創業の藍染工房が健在なのに感動しながら歩いていくと、益子焼のお店がずらっと並び通る。その先には大きな益子焼窯元共販センターも。そう、ここは東日本有数の陶芸の里・栃木県益子町です。

土祭では、半月にわたって広い町内全体が会場になります。陶芸や藍染、各種現代アートなどの作品展示に加え、様々なワークショップ、地元産品を活かした土祭市場や食堂などが、同時にあちこちで開かれます。

近年、元気な住民たちの地域づくり活動がますます盛んになっていく益子町。その真髄を楽しめる機会がア

土祭のテーマは、益子の風土、先人の知恵に感謝し、未来につなぐことです。陶芸愛好家のみならず、アート好き、おいしいものが好き、益子の魅力に惹かれて、首都圏

一円から大勢訪れます。

企画はすべて行政と町民が協働し、ボランティアで運営されています。そこから生まれる手づくり感も魅力です。皆さまもぜひ、次回の土祭を体感されてはいかがでしょう。